

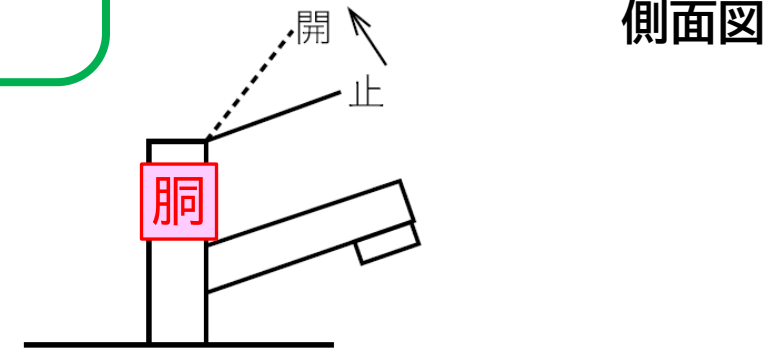
建築物エネルギー消費性能基準における節湯水栓(節湯C1)の定義補足

■シングル湯水混合水栓のレバーハンドル位置についての補足説明図を次に掲載する。

“レバーハンドルが水栓の正面に位置する”が適用されるパターン
(レバーハンドル部が別体でも同様)

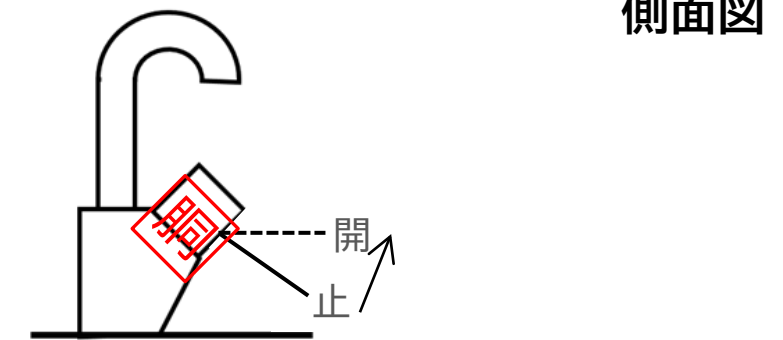
〔上面形〕

レバーハンドルが水栓の胴の上面に位置する場合



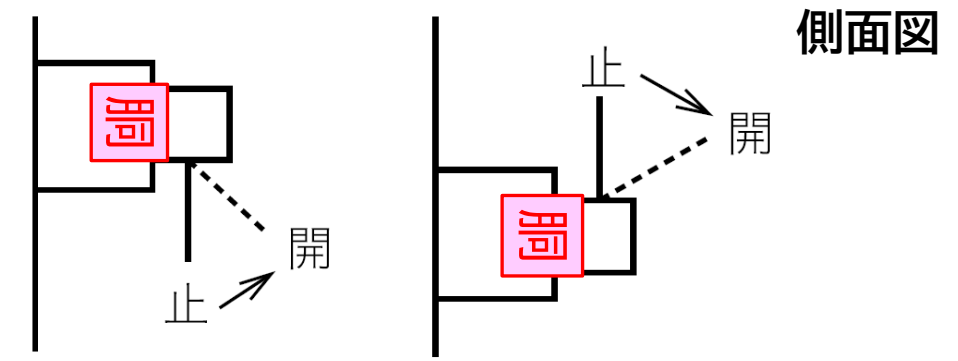
〔斜め形〕

レバーハンドルが水栓の胴の前方斜め面に位置する場合



〔前面形〕

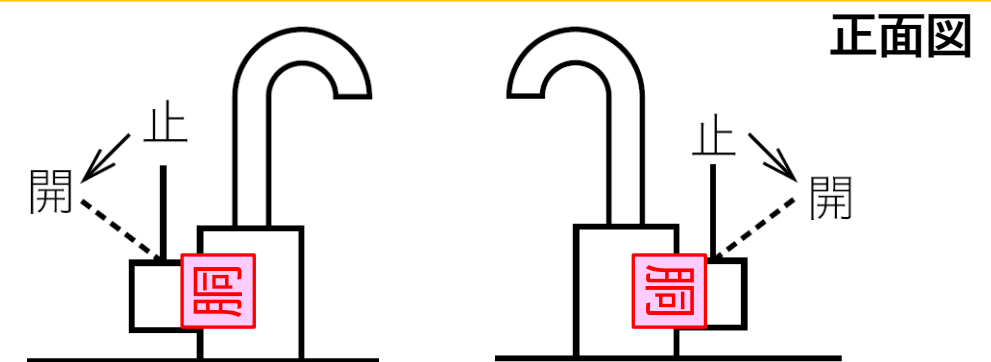
レバーハンドルが水栓の胴の正面に位置する場合



“レバーハンドルが水栓の胴の左右側面に位置する”
が適用されるパターン

〔側面形〕

レバーハンドルが水栓の胴の側面に位置する場合

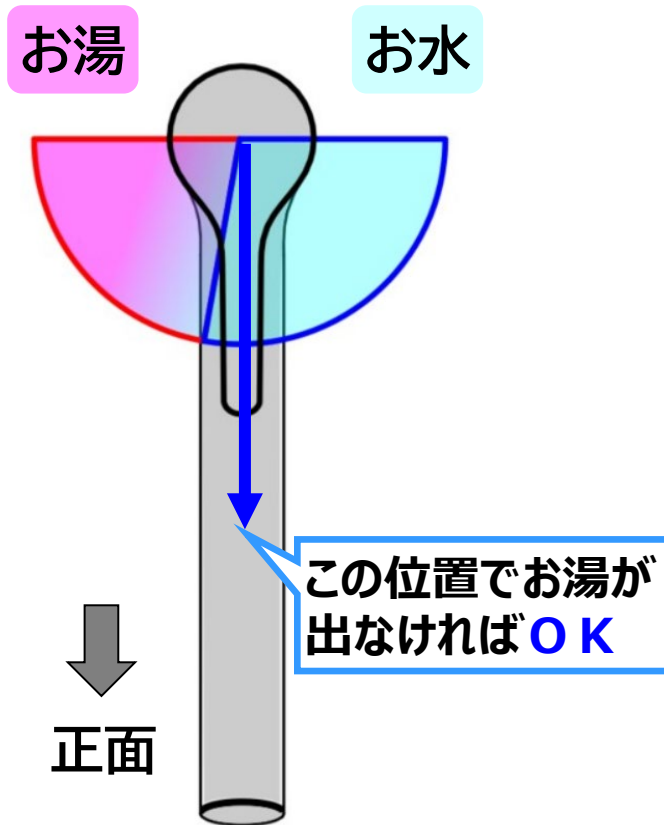


※胴＝吐水・止水および温度調節機構が一体となったバルブが位置する箇所

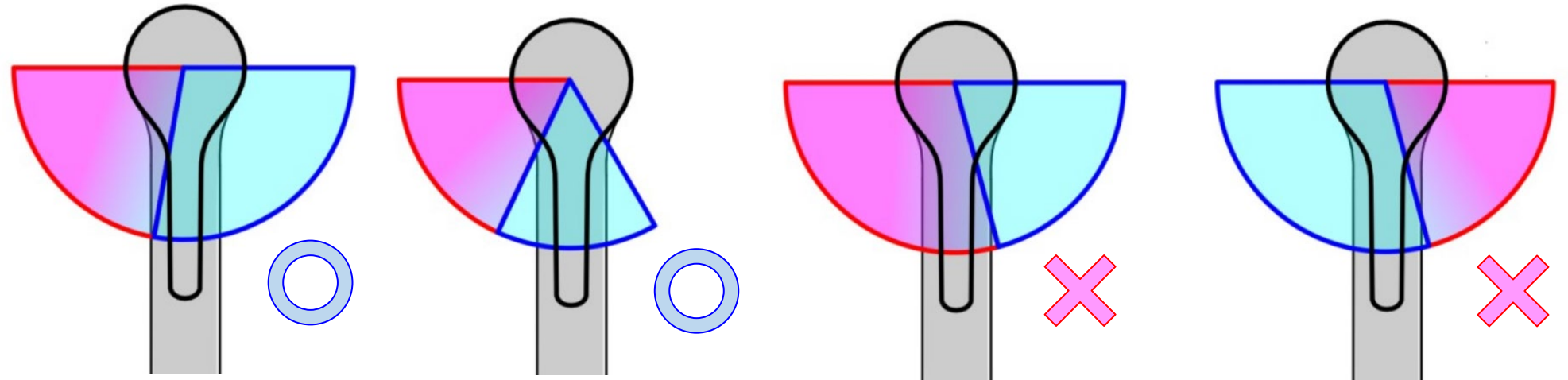
建築物エネルギー消費性能基準における節湯水栓(節湯C1)の定義補足

■節湯水栓“水優先吐水機構を有する水栓(節湯C1)”の定義における
“レバーハンドルが水栓の正面に位置するとき”についての補足説明図を次に掲載する

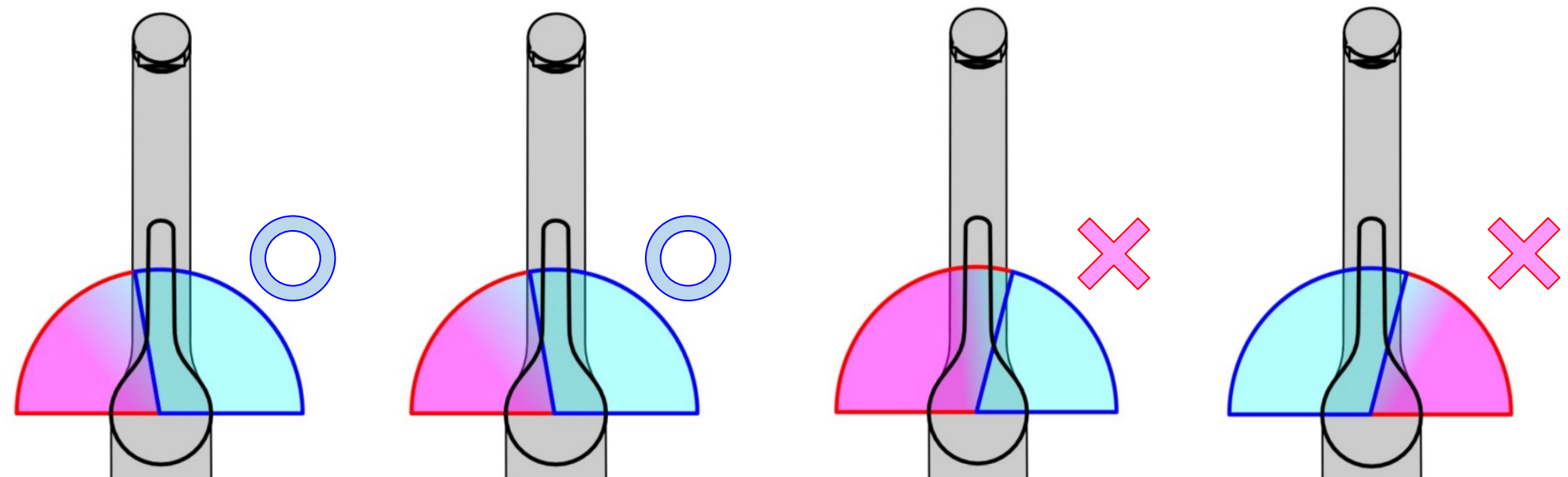
上面形の例



上面形・斜め形・前面形(ハンドルが下向き)の例



前面形(ハンドルが上向き)の例

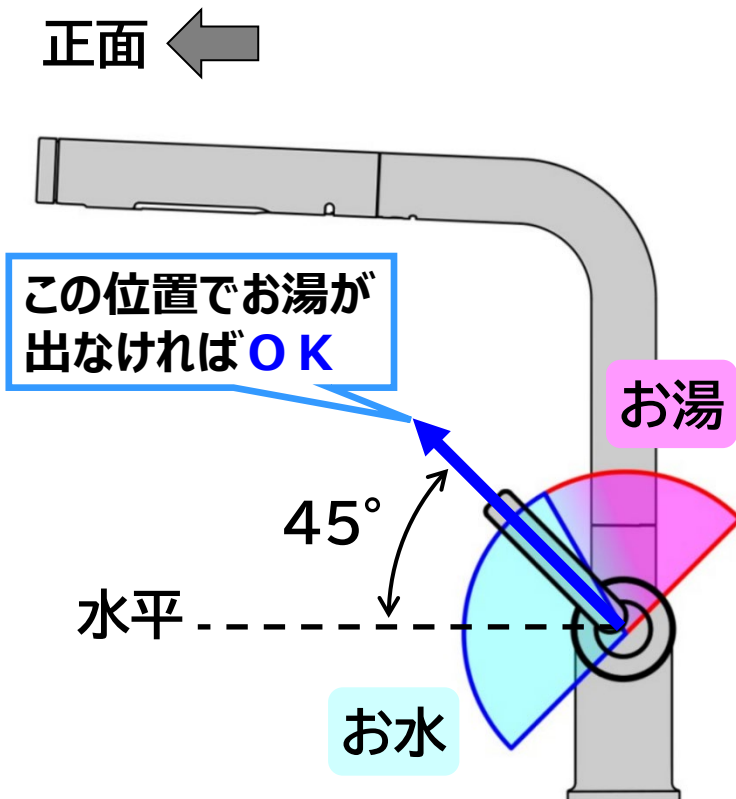


建築物エネルギー消費性能基準における節湯水栓(節湯C1)の定義補足

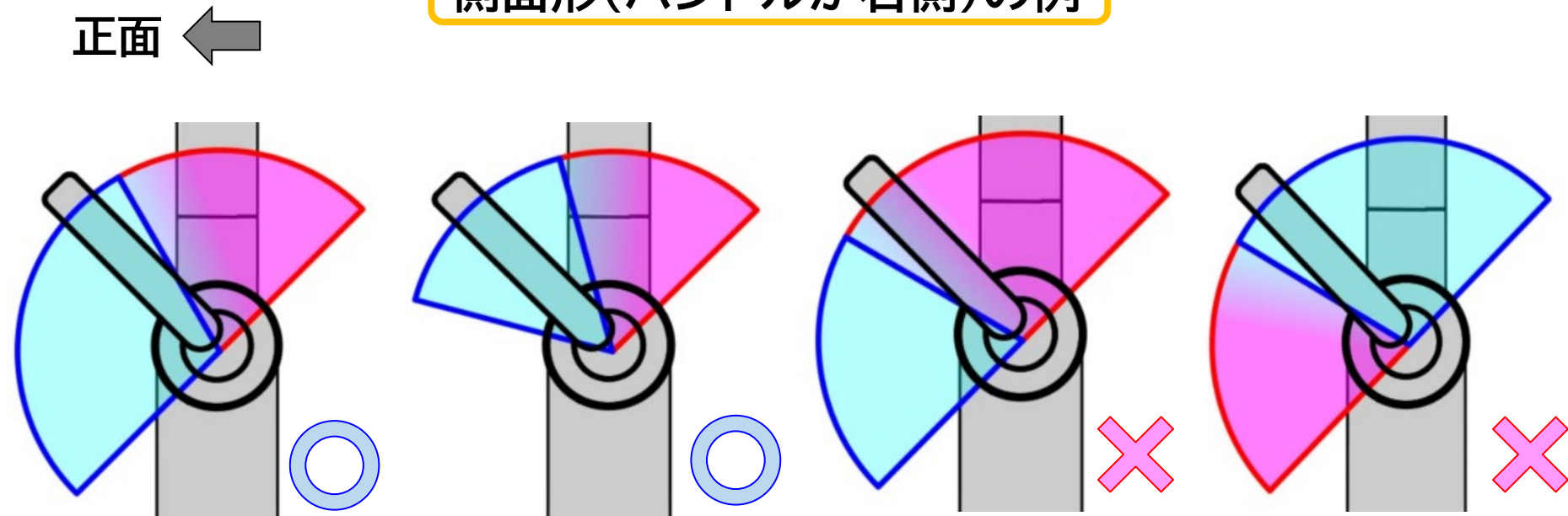
■節湯水栓“水優先吐水機構を有する水栓(節湯C1)”の定義における

“レバーハンドルが水栓の胴の左右側面に位置する場合は、温度調節を行う回転軸が水平で、かつレバーハンドルが水平から上方45°に位置するとき”についての補足説明図を次に掲載する

側面形(ハンドルが右側)の例



側面形(ハンドルが右側)の例



側面形(ハンドルが左側)の例

